はじめての探究

教師用活用シート

このシートを参考に、生徒の「はじめての探究」をご指導ください。

STEP 00 探究活動を始める前に

このページを使います

本時の学習

本誌 P.4-8



次回の確認

本誌 P.9



◎ モデルご指導案

	テキスト	学習活動	指導内容	指導上の留意点
導入 5分	本誌 P.4-5	● STEP 00 の内容を確認する。	● 探究活動の目的や意義、探究の４つのステップを確認させる。	● 自分の興味・関心や疑問から「これを解決したい！」と思える「課題」を見つけて、その解決策を探究していくことで、自分自身の成長につながると理解させる。
展開 10分	本誌 P.5	STEP 00 扉ページ ● CASE「こんな身近に探究活動」を読み、紹介されているA子ちゃんの事例のどこが探究活動なのかを考える。	● P.4の４つのステップにどう当てはまるのかを各自に推測させる。	● 机間巡視をして、4つのステップについて改めて説明しながら、道しるべになるような助言を行うことも大切。
10分	本誌 P.6	検証 ● CASE「こんな身近に探究活動」を読み、その事例のどこが探究活動なのかを考える。	● テキストを読みながら、A子ちゃんの行動と各ステップの関連を種明かしして、探究活動の流れをわかりやすくイメージさせるとともに、それが非認知能力を伸ばすというメリットにつながることを理解させる。	● 探究活動の課題は、意外と身近なところにタネがあると感じさせる。 ● 非認知能力とはどのような力なのかを改めて解説することも大切。
20分	本誌 P.7	WORK ● 「これからの探究活動で伸ばしたいのはどんな力？」の表を見ながら探究活動で伸ばせる3つの力を確認し、それぞれ提示された行動が得意か不得意かをチェックする。	● 「自分と向き合う力」「自分を高める力」「他者とつながる力」の3つの力があることを確認。どういう行動をとればそれぞれの力が身につくのかを見ていきながら、得意か不得意かをチェックさせる。	● 普段意識していなかった自分の行動特性を顕在化させながら、「今できていない行動」「不得意な行動」を伸ばせるよう心がけることで、探究活動の取り組みメリットが大きくなることを理解させる。
		WORK　宣言 ● 探究活動において、「特に伸ばしたい力」と「取ってみたい行動」を理由とともに記入する。	● 表をチェックしていて気づいた得意／不得意をもとに、伸ばしたい力と取ってみたい行動を記入させ、探究活動に取り組む姿勢を表明させる。	
まとめ 4分	本誌 P.8	● ステップごとに「目標設定&振り返り」を毎回のルーティンにすることで、探究行動は自分の成長につながることを理解する。	● これから始まる探究活動では、ステップごとに目標&振り返りを行うことを意識づける。同時にそのためのツールが用意されていることも周知する。	● 「振り返りシート」を配布して、実際に使い方と効果を説明するのもよし。
1分	本誌 P.9	● 次の時間の学習内容を確認する。	● 次回から、いよいよ探究活動がスタート。まずは自分の興味・関心から「問い」のタネを見つけることから始めると周知する。	● 「社会・地域」「教科・科目」「自分」「将来の職業・進路」の４ジャンルから問いのタネを見つけていくことを予告しておく。

はじめての探究

教師用活用シート

このシートを参考に、生徒の「はじめての探究」をご指導ください。

STEP 01 問いを設定する

1限目

このページを使います

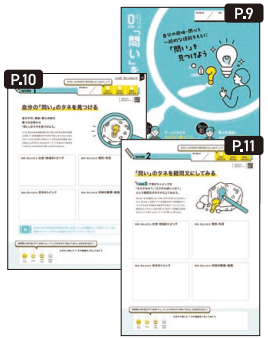
前時の確認

本誌 P.5-8



本時の学習

本誌 P.9-11



STEP 01 振り返りシート



次回の確認

本誌 P.12



◎ モデルご指導案 合計50分

	テキスト	学習活動	指導内容	指導上の留意点
導入 3分	振り返りシート	・「振り返りシート」の書き方を理解する。	・用紙を配布し、それぞれの欄にどのようなことを記入するかを説明する。	・「振り返りシート」配布 毎時間提出すること、探究活動の評価につながるものであることも理解させる。
2分	本誌 P.5-8	・前時の内容を確認する。	・探究活動の目的や意義、探究の4つのステップを確認させる。	・探究活動では「問いの設定」↔「情報収集」を繰り返しながら、「これを解決したい！」と思えるオリジナルの「課題」を見つけることが大切である。
5分	本誌 P.9 ＋ 振り返りシート	・本時の学習内容を確認する。	・本時は、テーマに関連し課題設定のヒントとなる「問い」のタネを見つけることが目標であることを確認させる。	・本時は、個人の「問い」のタネを見つける所までが目標である。
5分		・自分の目標を設定する。	・本誌P.9下段の行動例を確認し、特に伸ばしたい項目にマーカーを引かせた後、「振り返りシート」に選んだ理由まで記入させる。	・自分の目標はステップごとに設定するので次の時間からステップ終了時まで省略する。
展開 10分	本誌 P.10	WORK1 ・「問い」のタネを見つけるために、4つのジャンルで自分の興味・関心をメモしていく。	・4つの分野それぞれで、少しでも興味・関心があることを、思いつく限りメモに書き出していくように声をかける。	・過去の経験、今気になる情報などをもとに、好きなこと嫌いなこと、疑問に思うことなど、個人的に興味・関心がある事項をあげる。あまり深く考えずまずは数を出すことを良しとする。
10分		・メモをもとに『興味・関心のある分野』の4つの欄に記入する。	・書き出したメモから、特に気になるものを『興味・関心のある分野』の4つの欄に記入する。	・4つの欄すべてに記入できなくても構わない。
10分	本誌 P.11	WORK2 ・WORK1で記入した「問い」のタネを疑問文で表す。	・4分野の「問い」のタネの中から、特に「これが知りたい」「これを深めたい」と思うものを選択させ、疑問文の形に書き換えさせる。	・5W1Hを意識させて、「なぜ～か？」「どのようにすれば～できるか？」などのように疑問文で文末まで言語化させる。
まとめ 4分	振り返りシート	・本時の活動を振り返り、「振り返りシート」に反省や感想を書き、自分の目標達成度を評価し○で囲む。	・反省・感想欄は、探究活動の評価に入れるので、できるだけ具体的に書くよう指示する。	・評価は、評価基準に合わせて担当教員が客観的に行い、生徒の自己評価は評価に含まないよう特に留意する。
1分	本誌 P.12	・次の時間の学習内容を確認する。	・次の時間は、今日考えた個人の「問い」のタネを出し合って班内で話し合い、班としての「問い」のタネを考えることを周知する。	・授業終了後、各班で「振り返りシート」を集めて提出させる。

はじめての探究

教師用活用シート

このシートを参考に、生徒の「はじめての探究」をご指導ください。

STEP 01 問いを設定する

2限目

このページを使います

前時の確認

本誌 P.9-11



本時の学習

本誌 P.12



STEP 01 振り返りシート



次回の確認

本誌 P.13



◎ モデルご指導案 合計50分

	テキスト	学習活動	指導内容	指導上の留意点
導入 3分	本誌 P.9-11	・前時の内容を確認する。	・班員がそれぞれ、これが知りたい、これを深めていきたいと思う「問い」のタネを作成したことを確認させる。	・「問い」のタネは、5W1Hを意識した疑問文の形式で記入されている。
5分	本誌 P.12	・本時の学習内容を確認する。	・個人個人の「問い」のタネをもとに話し合い、班の「問い」のタネを決定することを確認させる。	・班員の「問い」のタネをヒントに、班の「問い」のタネを定めるまでが目標である。
2分	振り返りシート	・自分の目標を確認する。	・前時に設定した自分の目標を「振り返りシート」から確認させる。	・「振り返りシート」返却 毎時、自分の目標を意識して取り組むよう周知する。
展開 25分	本誌 P.12	WORK3 ・各班員の選択した「問い」のタネをもとに『メンバーの「問い」のタネ』欄に記入する。 ・気になったり、わからなかったりした言葉を『知りたいキーワード』欄に記録する。 ・班の「問い」のタネを決める。	・各班員の選択した「問い」のタネを互いに発表し合い、『メンバーの「問い」のタネ』欄に記入させる。 ・話し合いながら、特に気になったり、わからなかったりした言葉をテキストの『知りたいキーワード』欄に記録させ、あとで調べるように声をかける。 ・グループワークの進捗状況を確認し、話し合いを展開していくヒントを与える。	・発表時は「問い」のタネの内容だけでなく、それを選んだ理由や自分の考え、どうなって行けばよいかという思い等をまとめて簡潔に他の班員に伝えていくように心掛けさせる。 ・話すのが苦手な班員がいる場合は、質問をして話しやすい雰囲気を作っていくことも大切。 ・机間巡視をして話し合いの状況を把握する。 ・「主体」や「対象」、「時間軸」を変えるなど、視野を広げ、思考を深められるようヒントを与える。 ・担当者の意見や考えを示すことが無いよう留意する。 ・次はこんなことをやってみたらなど、道しるべのような助言が大切。
10分		・各班の「問い」のタネを発表する。	・各班の「問い」のタネ、設定した理由、これから調べたいキーワードなどを発表させる。	・時間がない場合は、1〜2班を選んで、代表して発表させる。
まとめ 4分	振り返りシート	・本時の活動を振り返り、「振り返りシート」に反省や感想を書き、自分の目標達成度を評価し○で囲む。	・反省・感想欄は、探究活動の評価に入れるので、できるだけ具体的に書くよう指示する。	・評価は、評価基準に合わせて担当教員が客観的に行い、生徒の自己評価は評価に含まないよう特に留意する。
1分	本誌 P.13	・次の時間の学習内容を確認する。	・次の時間は、今日設定した班の「問い」のタネ、キーワードなどについてメディアを使って情報を調べることを周知する。	・授業終了後、各班で「振り返りシート」を集めて提出させる。

はじめての探究

教師用活用シート

このシートを参考に、生徒の「はじめての探究」をご指導ください。

STEP 01 問いを設定する

3限目

このページを使います

前時の確認

本誌 P.12



本時の学習

本誌 P.13



STEP 01 振り返りシート



次回の確認

本誌 P.14



◎ モデルご指導案

合計 50分

※本時の活動は、時間数やネット環境等を検討し、次週までの宿題として設定することも可。

	テキスト	学習活動	指導内容	指導上の留意点
導入 3分	本誌 P.12	・前時の内容を確認する。	・各班員で設定した「問い」のタネと、ピックアップした「知りたいキーワード」を確認させる。	
5分	本誌 P.13	・本時の学習内容を確認する。	・ピックアップした各キーワードについて、メディアを使って調べていくことを確認させる。	・本時は、個人の活動が中心である。 ・再集合時間を設定する。 ・活動場所（HR、図書室、情報自習室等）を確認する。
2分	振り返りシート	・自分の目標を確認する。	・設定している自分の目標を確認して「振り返りシート」の項目に○を付けさせる。	・「振り返りシート」返却 毎時間ごとに目標を変更しても構わない。その際は、理由も記入させる。
展開 35分	本誌 P.13	WORK4 ・WORK3で「知りたいキーワード」欄に記入したキーワードをメディアを使って調べる。 ・調べたことを簡潔にまとめてテキストや「振り返りシート」に記録していく。	・テキストを読ませ、使用するメディアの例、調べたキーワードの記録の仕方を確認させる。 ・再集合時間を周知し、活動するよう指示する。	・単なる意味調べではなく、生活との関連や社会での影響など問題点や疑問点を探るヒントとなる情報を調べる。 ・タブレットで検索する生徒がほとんどであることが考えられるが、ネット環境等の関係で検索に時間がかかることがある。 （その際は、図書館で本や資料などから情報収集できることも助言する） ・時間を区切って班ごとに活動場所をローテーションしていく方法もある。 ・生徒の活動場所ごとに担当者を決め、対応する。 ・状況によって途中で人員確認等を行い、授業規律を確保する対策も検討しておく。
まとめ 4分	振り返りシート	・本時の活動を振り返り、「振り返りシート」に反省や感想を書き、自分の目標達成度を評価し○で囲む。	・反省・感想欄は、探究活動の評価に入れるので、できるだけ具体的に書くよう指示する。	・再集合時に出欠確認 評価は、評価基準に合わせて担当教員が客観的に行い、生徒の自己評価は評価に含まないよう特に留意する。
1分	本誌 P.14	・次の時間の学習内容を確認する。	・次の時間は、今日調べたことをもとに、班で追求したい「問い」を定めていくことを周知する。	・授業終了後、各班で「振り返りシート」を集めて提出させる。

はじめての探究

教師用活用シート

このシートを参考に、生徒の「はじめての探究」をご指導ください。

STEP 01 問いを設定する

4限目

このページを使います

前時の確認

本誌 P.13



本時の学習

本誌 P.14



STEP 01 振り返りシート



次回の確認

本誌 P.15



◎ モデルご指導案 合計50分

	テキスト	学習活動	指導内容	指導上の留意点
導入 3分	本誌 P.13	・前時の内容を確認する。	・各人で「問い」のタネに関係するキーワードについて、調べた情報を確認させる。	
5分	本誌 P.14	・本時の学習内容を確認する。	・班員それぞれが調べた情報を確認し合い、さらに興味や疑問が湧いてきたことを深め、各班の「問い」を定めていくことを確認させる。	・本時は探究活動の中でも「問い」を決定する重要な時間である。
2分	振り返りシート	・自分の目標を確認する。	・設定している自分の目標を確認して「振り返りシート」の項目に○を付けさせる。	・「振り返りシート」返却 毎時間ごとに目標を変更しても構わない。その際は、理由も記入させる。
展開 15分	本誌 P.14	WORK5 ・班員が調べたキーワードについて整理し、メンバー全員で共有する。 ・特に気になった情報について意見交換する。	**手順を説明する** ・各自がどんなキーワードを調べたかを出し合う。 ・キーワードごとに調べた内容を整理する。 ・特に気になった情報について意見交換する(新たな発見や驚き、疑問等)。	・机間巡視しながら話し合いが上手くできていない班に、話し合いのヒントを助言する。その際、教師が進行することがないよう注意する。 ・特に気になった情報にはアンダーラインを引いたり○で囲んだりするとわかりやすい。
10分		・班で追求したい「問い」を定める。	・今日の話し合いをもとに、探究活動の中で核となる「問い」を定めさせる。	・机間巡視しながら話し合いが上手くできていない班に、キーワードの中で深まったものが「問い」を設定するときのヒントになることを助言する。
まとめ 10分	本誌 P.14	・班ごとに「問い」を発表する。	・各班の「問い」、設定理由を簡潔に発表させる。	・時間がない場合は、1〜2班を選んで、代表して発表させる。
4分	振り返りシート	・本時の活動を振り返り、「振り返りシート」に反省や感想を書き、自分の目標達成度を評価し○で囲む。	・反省・感想欄は、探究活動の評価に入れるので、できるだけ具体的に書くよう指示する。	・評価は、評価基準に合わせて担当教員が客観的に行い、生徒の自己評価は評価に含まないよう特に留意する。
1分	本誌 P.15	・次の時間の学習内容を確認する。	・次の時間から STEP 02 、今日設定した「問い」に関する情報収集をさらに広く深く行っていくことを周知する。	・授業終了後、各班で「振り返りシート」を集めて提出させる。

はじめての探究

教師用活用シート

このシートを参考に、生徒の「はじめての探究」をご指導ください。

STEP 02 情報を集める

1限目

このページを使います

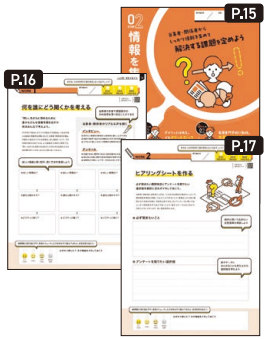
前時の確認

本誌 P.14



本時の学習

本誌 P.15-17



STEP 02 振り返りシート



次回の確認

本誌 P.17-18



◎ モデルご指導案 合計50分

	テキスト	学習活動	指導内容	指導上の留意点
導入 1分	本誌 P.14	・前時の内容を確認する。	・各班で「問い」を定めたことを確認させる。	
2分	本誌 P.15-16	・本時の学習内容を確認する。	・STEP 01 で決めた「問い」を、広く深い情報収集によって、「課題」にまで高めるステップであることを確認。さらに情報の収集方法が決定した班から面談を行っていくことを周知する。	・情報収集は時間を要するため、本時から数時間かけてまたは、休日や夏休みを利用して情報収集することもあると周知する。
2分	＋ 振り返りシート	・自分の目標を確認する。	・本誌P.15下段の行動例を確認し、特に伸ばしたい項目にマーカーを引かせた後、「振り返りシート」に選んだ理由まで記入させる。	・「振り返りシート」配布 自分の目標はステップごとに設定するので次の時間からステップ終了時まで省略する。
展開 20分	本誌 P.16	WORK1 ・STEP 01 で決めた問いをさらに深めるために、「何を誰にどう聞くか」を班で話し合わせる。	・5W1Hを意識させて、欲しい情報と聞く相手、聞く方法を検討させる。	・What：「問い」を深めていくためにどんな情報が欲しいか Who：調査対象を誰にするか When：調査をいつ行うか Where：調査をどこで行うか How：どのような調査を行うか （アンケート・インタビュー 等） Why：なぜその調査をすることにしたのか （目的や理由）
20分	本誌 P.17	・欲しい情報と聞く相手、聞く方法がある程度固まれば、担当教員と面談し、助言をもらう。 ・（待っている間に）WORK2に目を通しておく。	・話し合いの終わった班から面談を行い、情報収集のやり方（欲しい情報と聞く相手、聞く方法）が適切であるか確認する。 ・面談までの待ち時間を利用して、WORK2に目を通すよう促し、ヒアリングシートの内容について検討させる。	・面談では、不備や曖昧な点等について質問を通して生徒に気付かせ、考えさせる。 ・内容や対象者によっては校長決済が必要な場合がある。 ・できなかった班は、次の時間までに休み時間や放課後を使って面談する。
まとめ 4分	振り返りシート	・本時の活動を振り返り、「振り返りシート」に反省や感想を書き、自分の目標達成度を評価し○で囲む。	・反省・感想欄は、探究活動の評価に入れるので、できるだけ具体的に書くよう指示する。	・評価は、評価基準に合わせて担当教員が客観的に行い、生徒の自己評価は評価に含まないよう特に留意する。
1分	本誌 P.17-18	・次の時間の学習内容を確認する。	・次の時間は企画書とヒアリングシートを完成させていくことを周知する。	・授業終了後、各班で「振り返りシート」を集めて提出させる。

はじめての探究

教師用活用シート

このシートを参考に、生徒の「はじめての探究」をご指導ください。

STEP 02 情報を集める

2限目

このページを使います

前時の確認

本誌 P.16



本時の学習

本誌 P.17-18



STEP 02 振り返りシート



次回の確認

本誌 P.18



◎ モデルご指導案

合計 50分

※定期考査や学校行事等で授業時数が確保できない時は、ヒアリングシートの提出期限を設定して宿題にするのも可。

	テキスト	学習活動	指導内容	指導上の留意点
導入 2分	本誌 P.16	・前時の内容を確認する。	・班で決めた情報収集のやり方と面談での検討事項を確認させる。	
2分	本誌 P.17	・本時の学習内容を確認する。	・情報収集の事前準備としてヒアリングシートを完成させていくことを確認させる。	・対外的な活動は、内容や対象者によっては校長決済を受けなければならない場合があるので留意する。
1分	振り返りシート	・自分の目標を確認する。	・前時に設定した自分の目標を確認して「振り返りシート」の項目に○を付けさせる。	・「振り返りシート」返却 毎時間ごとに目標を変更しても構わない。その際は、理由も記入させる。
展開 40分	本誌 P.17	WORK2 ・インタビューやアンケートの具体的な質問項目を検討し、ヒアリングシートを作成・提出する。	・取材する相手に必ず聞きたい質問項目を具体的に文章化させる。 ・発表資料など、後でデータ化して使用することも考慮して、アンケートの選択肢を考えさせる。 ・質問項目とアンケートを「ヒアリングシート」としてまとめて提出させる。	・ヒアリングシートは提出させ、事前に確認する。 ・提出期限を決める。 ・取材先が役所や企業などの場合は、企画書が必要になる。担当教員間で検討した後、学年主任や教頭等に点検してもらい、校長決済が必要なものについては起案する。
	本誌 P.18	WORK3 ・ヒアリングシートを提出した班は、調査実施に向け、具体的な計画・役割分担を話し合う。	・実施時の役割分担、アポどり、印刷、集計方法、データの分析方法などを具体的に計画させる。	・放課後、休日や長期休業日等を利用して実施しても構わない。
まとめ 4分	振り返りシート	・本時の活動を振り返り、「振り返りシート」に反省や感想を書き、自分の目標達成度を評価し○で囲む。	・反省・感想欄は、探究活動の評価に入れるので、できるだけ具体的に書くよう指示する。	・評価は、評価基準に合わせて担当教員が客観的に行い、生徒の自己評価は評価に含まないよう特に留意する。
1分	本誌 P.18	・次の時間の学習内容を確認する。	・次の時間は、引き続き調査実施に向け、具体的な計画・役割分担を話し合うことを予告する。	・授業終了後、各班で「振り返りシート」を集めて提出させる。

はじめての探究

教師用活用シート

このシートを参考に、生徒の「はじめての探究」をご指導ください。

STEP 02 情報を集める

3限目

このページを使います

前時の確認

本誌 P.17



本時の学習

本誌 P.18



STEP 02 振り返りシート



次回の確認

本誌 P.19



◎ モデルご指導案 合計50分

	テキスト	学習活動	指導内容	指導上の留意点
導入 1分	本誌 P.17	・前時の内容を確認する。	・完成したヒアリングシートを確認させる。	
2分	本誌 P.18	・本時の学習内容を確認する。	・本時は、調査実施に向け、具体的な計画・役割分担を話し合うことを確認させる。	・実施前に、アポ取りの際の携帯電話の使用を学校として許可するかどうか検討しておく。
2分	振り返りシート	・自分の目標を確認する。	・設定している自分の目標を確認して「振り返りシート」の項目に○を付けさせる。	・「振り返りシート」返却 毎時間ごとに目標を変更しても構わない。その際は、理由も記入させる。
展開 30分	本誌 P.18	WORK3 ・具体的な情報収集の詳細を話し合い、「情報収集計画表」を作成する。	・情報収集計画を立てるに当たって、「やるべきこと」「やってはいけないこと」などのルールを明確に指導する。	・探究活動の授業中に情報収集先に出かけることはできない。 ・班員全員で分担する。 ・期限を設定する。
まとめ 10分	本誌 P.18 ＋ オリジナル動画	・情報収集時の注意点を確認する。 動画 動画教材（インタビュー・マナー動画）については以下のURLからご覧いただけます。 https://www.anabuki.ac.jp/monka-kousen/dl/movie/	・言葉遣いや訪問マナーなど、情報収集時の注意点を確認させる。	・訪問時間の厳守 ・丁寧な言葉遣い ・リピートやあいづち等のリアクションの大切さ ・帰る際にお礼を述べる ・帰ってから電話、メール、書状等で再度、感謝の気持ちを伝える　etc
4分	振り返りシート	・本時の活動を振り返り、「振り返りシート」に反省や感想を書き、自分の目標達成度を評価し○で囲む。	・反省・感想欄は、探究活動の評価に入れるので、できるだけ具体的に書くよう指示する。	・評価は、評価基準に合わせて担当教員が客観的に行い、生徒の自己評価は評価に含まないよう特に留意する。
1分	本誌 P.19	・次の時間の学習内容を確認する。	・次の時間は、収集した情報を参考に「問い」をさらに深掘りし、班で解決する「課題」を決定していくことを予告する。	・授業終了後、各班で「振り返りシート」を集めて提出させる。

はじめての探究

教師用活用シート

このシートを参考に、生徒の「はじめての探究」をご指導ください。

STEP 02 情報を集める

4限目

このページを使います

前時の確認

本誌 P.18



本時の学習

本誌 P.19-20



STEP 02 振り返りシート



次回の確認

本誌 P.22



◎ モデルご指導案 合計50分

	テキスト	学習活動	指導内容	指導上の留意点
導入 2分	本誌 P.18	・前時の内容を確認する。	・インタビューやアンケートによって収集した情報を確認させる。	
2分	本誌 P.19-20	・本時の学習内容を確認する。	・収集した情報から「問い」を深め、各班の最終的な課題を導き出していくことを確認させる。	・「問い」から課題解決への実践に繋げるために、「問い」をより具体化、明確化する必要がある。
1分	振り返りシート	・自分の目標を確認する。	・設定している自分の目標を確認して「振り返りシート」の項目に○を付けさせる。	・「振り返りシート」返却 毎時間ごとに目標を変更しても構わない。その際は、理由も記入させる。
展開 20分	本誌 P.19	WORK4 ・インタビューやアンケートで得た情報を整理する。	・フセンやメモ用紙などに得られた情報を簡潔に記入させる。	・情報の骨子がわかるようにできるだけ簡潔にまとめさせる。
		・視点を変える。	・収集した情報に対して疑問・矛盾・憤りなどの意見を出し合い、見えてきた新たな視点をもとに、「気づき」をメモさせる。	・視野を広げ、多角的な視点で考えるさせることで、新たな視点＝気づきの獲得を狙う。
		・ギャップに注目する。 ・比較してみる。	・取材で判明した「現在の状況」を「理想の状況」を並べて、そのギャップに注目させたり、類似問題に対する「先行事例」と比較させてみる。	・現実と理想のギャップの確認や先行事例の比較をさせることで、漠然としていた「問い」のポイントを絞り込ませる。
		・「問い」を具体化させる。	・新たな「気づき」やポイントの絞り込みをもとに、具体性をもった(現実的な)「問い」を考えさせる。	・課題を設定し、解決策を考え、実践するためには、具体的・現実的な「問い」が必要。
20分	本誌 P.20	WORK5 ・「問い」の解決策(仮説)を話し合う。	・今までのWORKでやってきたことを参考にして、「問い」の解決策を考えさせる。	・多角的に思考させる 思いつくものをどんどん出すことが大切である。
		・班で取り組む最終的な「課題」を定める。	・出された「仮説」をもとにして各班でこれから取り組んでいく最終的な「課題」を決定させる。	・「仮説」を実証するためにはどのような「課題」を解決すればよいかを考えさせる。 ・「課題」の案を出す時は、先んじて解決できるかどうかを判断しないよう心掛けさせる。
まとめ 4分	振り返りシート	・本時の活動を振り返り、「振り返りシート」に反省や感想を書き、自分の目標達成度を評価し○で囲む。	・反省・感想欄は、探究活動の評価に入れるので、できるだけ具体的に書くよう指示する。	・評価は、評価基準に合わせて担当教員が客観的に行い、生徒の自己評価は評価に含まないよう特に留意する。
1分	本誌 P.22	・次の時間の学習内容を確認する。	・次の時間から STEP 03 、今日設定した最終的な「課題」に対して、その解決策の決定・実践までを行っていくことを周知する。	・授業終了後、各班で「振り返りシート」を集めて提出させる。

はじめての探究

教師用活用シート

このシートを参考に、生徒の「はじめての探究」をご指導ください。

STEP 03 整理・分析・実践する

1限目

このページを使います

前時の確認

本誌 P.20



本時の学習

本誌 P.22-23



STEP 03 振り返りシート



次回の確認

本誌 P.24



◎ モデルご指導案 合計50分

	テキスト	学習活動	指導内容	指導上の留意点
導入 2分	本誌 P.20	・前時の内容を確認する。	・収集した情報から、班の最終的な「課題」を決定したことを確認させる。	
2分	本誌 P.22 ＋ 振り返りシート	・本時の学習内容を確認する。	・収集した情報を「整理」「分析」しながら、課題の解決策を検討していくことを確認させる。	
1分		・自分の目標を確認する。	・設定している自分の目標を確認して「振り返りシート」の項目に○を付けさせる。	・「振り返りシート」配布 毎時間ごとに目標を変更しても構わない。その際は、理由も記入させる。
展開 40分	本誌 P.23	WORK1 ・集めた情報を整理・分類する。	・収集した情報をすべてフセンに書き出すよう周知する。	・フセンとそれを貼り付ける用紙（A3）を配付 まずは得た情報の良し悪しを判断せず、すべてフセンにシンプルな言葉で書き出すこと。
		・共通項を探し、情報をグルーピングする。	・内容が同じもの、関係が深いもの、観点が同じものなど、共通点のある情報をグループ化しながらA3用紙にフセンを貼っていくよう指示する。	・内容が同じものはフセンを重ねると整理しやすい。 ・関係性が高いものは近くに整理する。 ・グループ間の大きな関係性がある場合も線で結んだり、丸で囲んだりしてわかりやすくする。
		・整理・分類した情報を分析し、問題点や改善点など解決策に繋がる事象を見つける。	・課題解決への障壁となっている問題点やより良くするために改善すべき点などを話し合い、まとめていくよう指示する。	・整理した情報をグループごとに検討するとピントが合って話し合いやすい。 ・些細なことでも意見を出すことが大切。
まとめ 4分	振り返りシート	・本時の活動を振り返り、「振り返りシート」に反省や感想を書き、自分の目標達成度を評価し○で囲む。	・反省・感想欄は、探究活動の評価に入れるので、できるだけ具体的に書くよう指示する。	・評価は、評価基準に合わせて担当教員が客観的に行い、生徒の自己評価は評価に含まないよう特に留意する。
1分	本誌 P.24	・次の時間の学習内容を確認する。	・次の時間は、今回まとめた問題点や改善点をもとに、課題解決に向けた具体的な解決策を班で話し合うことを予告する。	・授業終了後、各班で「振り返りシート」を集めて提出させる。

はじめての探究

教師用活用シート

このシートを参考に、生徒の「はじめての探究」をご指導ください。

STEP 03 整理・分析・実践する

2限目

このページを使います

前時の確認

本誌 P.23



本時の学習

本誌 P.24-25



STEP 03 振り返りシート



次回の確認

本誌 P.26



◎ モデルご指導案 合計50分

	テキスト	学習活動	指導内容	指導上の留意点
導入 1分	本誌 P.23	・前時の内容を確認する。	・情報を整理・分類し、課題解決の障壁やより良くするために改善すべき点などをまとめたことを確認させる。	
2分	本誌 P.24-25	・本時の学習内容を確認する。	・整理・分類した情報をもとにして課題解決のアイデアを出し合い、班で取り組む解決策を決定することを確認させる。	
2分	振り返りシート	・自分の目標を確認する。	・設定している自分の目標を確認して「振り返りシート」の項目に○を付けさせる。	・「振り返りシート」返却 毎時間ごとに目標を変更しても構わない。その際は、理由も記入させる。
展開 40分		WORK2 ・解決策のアイデアを出し合う。	・対立する情報、先行事例と類似事例、当事者・関係者の視点など、集めた情報からヒントを探りながら、解決につながるアイデアを班で出し合わせる。	・フセンと用紙（A3）を配付 思いついた解決策はどのようなものでも構わないので、自分で判断せず、すべて書き出すこと。
	本誌 P.24	・出てきたアイデアをすべて書き出し、実現できそうかどうかを検討する。	・班の中で出てきた解決アイデアを書きだし、「難易度」「効果度」をしっかり検討し、実行可能で効果も高いアイデアがどれかを検討する。	・「難易度」の目安は、自分たちだけで可能なものは「易」、他者に理解してもらい協力を得なければならないものは「難」とする。 ・「効果度」の目安は、対象の一部分だけが改善される場合が「低」、対象全体が改善されたり、大きな影響を及ぼしたりする場合を「高」とする。 ・主観的で構わないが、班員の同意を得て判断することが大切。
	本誌 P.25	WORK3 ・解決策を決定する。	・アイデアの中から実施可能な解決策をいくつか選んでメリットやデメリットを詳細に検討し、最終的な課題解決策を決定するよう指示する。	・対象、時間、空間、経費、他への影響など様々な方向から多角的に検討することが大切。
まとめ 4分	振り返りシート	・本時の活動を振り返り、「振り返りシート」に反省や感想を書き、自分の目標達成度を評価し○で囲む。	・反省・感想欄は、探究活動の評価に入れるので、できるだけ具体的に書くよう指示する。	・評価は、評価基準に合わせて担当教員が客観的に行い、生徒の自己評価は評価に含まないよう特に留意する。
1分	本誌 P.26	・次の時間の学習内容を確認する。	・次の時間は、課題解決策の実践計画を立てていくことを予告する。	・授業終了後、各班で「振り返りシート」を集めて提出させる。

はじめての探究

教師用活用シート

このシートを参考に、生徒の「はじめての探究」をご指導ください。

STEP 03 整理・分析・実践する

3限目

このページを使います

前時の確認

本誌 P.25



本時の学習

本誌 P.26



STEP 03 振り返りシート



次回の確認

◎ モデルご指導案 合計50分

	テキスト	学習活動	指導内容	指導上の留意点
導入 1分	本誌 P.25	・前時の内容を確認する。	・情報をもとに検討し、班で取り組む課題解決策を決定したことを確認させる。	
3分	本誌 P.26	・本時の学習内容を確認する。	・決定した課題解決策を実際に実践していく計画を立てることを確認させる。	
1分	振り返りシート	・自分の目標を確認する。	・設定している自分の目標を確認して「振り返りシート」の項目に○を付けさせる。	・「振り返りシート」返却 毎時間ごとに目標を変更しても構わない。その際は、理由も記入させる。
展開 35分	本誌 P.26	WORK4　解決策を実践に移す ・実践内容や役割分担など具体的な実践計画を立てる。	・実践計画を立てるに当たって、考慮する点や注意する点を指導する。	・5W1Hを頭に置きながら具体的な実践内容を考える。 ・各自の得意・不得意を考慮して役割分担する。 ・実践期限を設定する。
		・実践計画表を作る。	・班で決定したことを計画表にまとめさせる。	・現実的に実践可能な計画になっているかをチェックし、必要があれば助言を行う。
まとめ 5分		・実践時の注意点を確認する。	・例を挙げながら、実践時の注意点を詳細に話し、理解させる。	**他者に協力いただくときは** ・アポ取り、時間の厳守、挨拶、丁寧な言葉遣い、お礼の言葉等情報収集時に心掛けたマナーを再確認。インターネット等を利用して実践する場合は、利用の範囲や内容について担当教員とよく相談してから実践する。 ・著作権、肖像権、各種ハラスメント等に細心の注意を払う。
4分	振り返りシート	・本時の活動を振り返り、「振り返りシート」に反省や感想を書き、自分の目標達成度を評価し○で囲む。	・反省・感想欄は、探究活動の評価に入れるので、できるだけ具体的に書くよう指示する。	・評価は、評価基準に合わせて担当教員が客観的に行い、生徒の自己評価は評価に含まないよう特に留意する。
1分		・次の時間の学習内容を確認する。	・次の時間からは、実践の結果を整理し、成果発表に向けてまとめる作業に入ることを周知する。	・授業終了後、各班で「振り返りシート」を集めて提出させる。

はじめての探究

教師用活用シート

このシートを参考に、生徒の「はじめての探究」をご指導ください。

STEP 04 まとめ・発表する

このページを使います

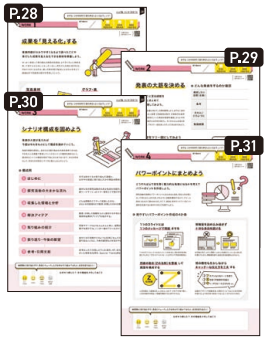
前時の確認

本誌 P.27



本時の学習

本誌 P.28-31



STEP 04 振り返りシート



次回の確認

◎ モデルご指導案

※班ごとに進度や内容が異なるため、各校の実情に合わせて時間配分を行う。

	テキスト	学習活動	指導内容	指導上の留意点
導入	本誌 P.27	・本時の学習内容を確認する。	・実践成果を分析し、成果発表会の準備の時間としてプレゼンテーションスライド（パワーポイント）を作成していくことを確認させる。	・期日・各班の持ち時間・スライドの内容・役割分担（進行係・計時係・マイク係等）を説明する。
	振り返りシート	・自分の目標を設定する。	・「振り返りシート」の自分の目標の欄内の項目から特に伸ばしたい項目を選ばせ、簡単にその理由も記入させる。	・自分の目標はステップごとに設定するので次の時間からステップ終了時まで省略する。
展開	本誌 P.28	WORK1～4 ・成果発表に向けて、テキストを見ながら、これからの作業の流れを確認する。 ※最初の時間にテキストを用いて大まかな流れを確認した後、スライド作成まで各班で進めていくことが望ましい。	WORK1　成果を「見える化」する ・発表内容を分かりやすくするために、写真や表・グラフなどに見える化するよう指導する。	・できるだけ文章表現ではなく、簡潔な語句や図、表、グラフ、写真など見える化するとわかりやすい。 ・インタビュー音声や動画等を交えるのも効果的。
	本誌 P.29		WORK2　発表の大筋を決める ・聴衆に何を一番訴えたいか、何について考えてもらいたいかなど、ポイントを定め、それをベースに発表の概要を考えるよう指導する。	・発表の内容をツリー図にまとめさせる。 ・何を説明すればポイントが明確になるか条件や得た情報を整理する。 ・一般的な発表構成は「序論」→「本論」→「結論」「起」→「承」→「転」→「結」
	本誌 P.30		WORK3　シナリオ構成を固める ・テキストの構成例を参考にして、発表のシナリオ構成の骨子を固めるよう指導する。	・発表のシナリオは、パワーポイントのスライド構成にも反映するので、WORK4と一緒に考えていくこともできる。
	本誌 P.31		WORK4　パワーポイントにまとめる ・シナリオ構成に沿ったスライド作成を指導する。	・WORK1で作成した素材を用いる。 ・気を惹く魅力的な発表になるかを考えて、見やすくわかりやすいスライド構成に留意する。
まとめ	振り返りシート	・本時の活動を振り返り、「振り返りシート」に反省や感想を書き、自分の目標達成度を評価し○で囲む。	・反省・感想欄は、探究活動の評価に入れるので、できるだけ具体的に書くよう指示する。	・評価は、評価基準に合わせて担当教員が客観的に行い、生徒の自己評価は評価に含まないよう特に留意する。
		・次の時間の学習内容を確認する。	・次の時間は、今回まとめた問題点や改善点をもとに、課題解決に向けた具体的な解決策を班で話し合うことを予告する。	・授業終了後、各班で「振り返りシート」を集めて提出させる。